

# 社外重役

Selected Clients &amp; Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド  
 東京本社)東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル10F  
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439  
 大阪支社)大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F  
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

## 経営

### ラオックス、京都の観光タクシー会社を買収 低リスク高リターンのM&A戦略に注目

日本の人口が減少を続けている。4月に厚生労働省が発表した「将来推計人口」によれば、2053年に1億人を割ると予想されている。一方で、訪日外国人客数は年々増加。昨年は初めて2,000万人を突破した。今年1~3月期は654万人と過去最高をマークしている。

そうした状況の中、改めて注目を集めているのがインバウンドビジネスだ。とりわけ、「爆買い」の象徴でもあったインバウンドの雄、ラオックスの動きが活発化している。大型商業施設を取得するなど、免税店事業にとどまらない展開を試みている。さらに、5月31日には京都のタクシー会社「愛都交通」を子会社化すると発表した。同社は08年からタクシー事業を行っている新興企業で、観光タクシー事業を展開している。15年に京都市を訪れた外国人宿泊客数は対前年比73%増と、日本全体の平均値である46.4%を大きく上回っている。つまり、外国人向けの観光タクシー事業は今後も大きく伸びていくことが期待できるというわけだ。「愛都交通」の株式取得額は非公表だが、資本金900万円、車両台数33台と小規模なため多額であるとは考えにくい。低リスクで迅速に観光タクシー事業へ参入できると考えれば、多角的にインバウンドビジネスを展開したいラオックスにとってはメリットしかない。

少ない投資で異分野へ着実な橋頭堡を築く一。抜け目ない経営戦略が光るM&Aと言えそうだ。

## 税務会計

### 2016年分所得税等の確定申告状況 申告納税額は2年連続増の3兆円

国税庁が発表した2016年分所得税等の確定申告状況によると、所得税の確定申告書を提出した人は、前年を0.8%上回る2,169万人となり、2年連続で増加した。申告納税額がある人(納税人員)は同0.7%増の637万人となり、2年連続の増加。納税人員の増加に伴い、その所得金額も同1.7%上回る40兆572億円となり、2年連続で増加した。

申告納税額は、前年を3.1%上回る3兆621億円と、2年連続の増加。これは、土地の譲渡所得が前年分に比べ10.0%増と増加したことが影響しているとみられる。なお、還付申告者数は、前年分から0.9%増の1,258万人と、2010年分(1,267万3千人)からほぼ横ばいで推移しているが、申告者全体の約58%を占めている。

所得税申告者のうち、株式等の譲渡所得の申告者は前年分比2.7%増の93万人2千人と3年ぶりに増加したが、うち所得金額がある人は同36.3%減の29万4千人、所得金額は同4.7%減の2兆6,130億円と、ともに2年ぶりに減少。これら株式等譲渡所得の申告者を除く土地等の譲渡申告者は同1.2%増の49万5千人、うち所得金額がある人は同1.6%増の32万人6千人、所得金額は同10.0%増の4兆4,652億円とともに7年連続で増加した。

一方、贈与税の申告状況は、贈与税の申告書を提出した人員が50万9千人で前年分比5.4%減、そのうち納税人員は37万1千人で同3.2%減少し、その申告納税額は2,252億円で同6.2%減少している。

## 今週のキーワード

### 観光タクシー

観光バスツアーでバスガイドが観光名所を案内するように、タクシー乗務員が観光案内を行うスタイル。とりわけ観光地ではタクシー会社がそれぞれ工夫して取り組んでおり、顧客の要望に合わせてオーダーメイドでプランを組むケースも多い。特に、観光都市である京都では、個人事業者が観光タクシーを実施している場合もあり、競争は激化。インバウンド需要をにらみ、数力国語に対応する事業者も増えてきている。